

「都構想」の

保育園もあぶない

最大の問題は「くらしが壊される」ことです



政令市・大阪市が独自に実施していた
住民サービスが切り捨てられる!?

これが危ない!

- こども医療費助成
- ひとり親家庭・重度障がい者医療費助成
- 塾代助成事業
- 学校給食費無償化
- 幼稚園就園奨励費補助事業



そもそも「大阪都」とは

- 4つの「特別区」になります
- 名前は「大阪都」にならず「府」のままです
- 大阪市の権限・財源・財産が「府」に吸い取られます
- もう二度と大阪市にもどれません

財政シミュレーションに削減明記

施設	箇所
市民プール	24→9
スポーツセンター	24→18
老人福祉センター	26→18
子育てプラザ	24→18

住民サービスを維持したくても、お金がなければできません!

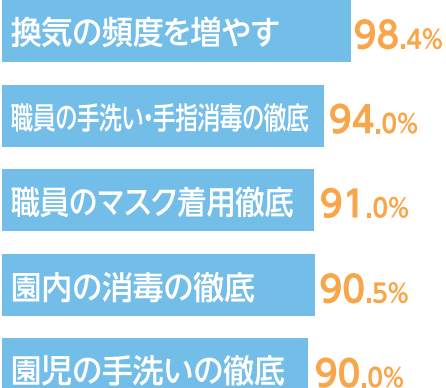
- 「特別区」設置には、1300億円(15年間)もムダなコストがかかります。
- 「特別区」の税収は大阪市の3分の1に激減し、大阪府からの「おこづかい」だけに。

今の大阪市だからこそ十分な**財源**と**権限**で
コロナ対策と安全・安心な保育ができる!

今は都構想より
コロナ対策が最優先!

感染予防対策として
実施していること

※複数回答、上位5項目



大変なこと、困ったこと、
保育者たちの声

※自由記述

- 保育をする上で、濃厚接触は避けられない
- 乳児保育は、顔の前で飛沫が飛ぶ、おもちゃをなめるなど、感染予防が困難
- 散歩中に苦情を言われ、散歩を控えている

東京大学の発達保育実践政策学センターによる「保育・幼児教育施設における新型コロナウイルス感染症に関わる対応や影響に関する調査」から引用

保育現場での新型コロナ最前線

保育士が安心して保育するため、定期的なPCR検査や消毒作業員の配置など、早急の対策が求められています。

コロナ対策に
全力をあげてほしい!
厳しい保育現場の声を聞いて

認可保育園の
園長



園児が家庭内コロナ感染で入院し、同じフロアの職員と園児全員が濃厚接触者となり2週間観察とPCR検査をしました。検査可能な小児科病院が少ないことを実感しました。職員も検査して結果が出るまで10日もかかりましたが、他市では当日や翌日に検査を受けられます。市民の命と生活を守る保健所等の機能と体制強化が求められています。大阪市を廃止するのではなく、いまの大阪市でコロナ対策とマニュアルを見直してほしい。コロナ対策が置き去りにされていると感じます。

